

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報
第27号

2022.7.31

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ● FAX 0197-51-6836 ● URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ● E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 岩城利行 山口翔 切金唯希 佐藤信子 千田進太郎 成田朋子



コロナ禍の新年度を迎えて

施設長 千葉 信 男

日頃は当施設の運営に対し地域の皆さまを始め多くの方々のご支援ご協力を心より感謝申し上げます。

さて、新年度スタートから早くも四ヶ月が経過しようとしています。

現在も新型コロナウイルス対策を講じながらの施設運営となっておりますが、過日「福祉サービスに関するアンケート調査」を実施したところ、大方のご家族様より感謝のお言葉を頂きました。しかしながら、一方では「コロナ禍であり面会も出来ないことから個人の様子を記したものが欲しい、忙しい所で話かけにくい」等のご指摘もありました。このことについては、真摯に受け止め改善を図って参りたいと考えております。

奥州市の高齢化率は、三十六%を超え独居並びに高齢者世帯は年々増加している状況にあります。全国的にも高齢化が顕著に進んでいることは、周知の事実であります。高齢者を支援する場所と担う人の確保は避けては通れない課題であります。なかでも高齢者を担う人材の確保は最重要課題と考えます。

求人説明会や三二面談会、求人情報交換会等の参加、そして職員紹介制度の活用をしながら、職員確保に力を尽くして参ります。

また、懸案であります「介護機器導入」「看取り介護の在り方」については継続し検討を進めて参ります。

短期入所（ショートステイ）事業につきましては、居宅介護支援事業所様のご支援ご協力を頂きながら継続的な運営を基本として実践して参ります。

いずれにしましても、利用者様の生活を第一とした施設運営を一年目も歩んで参りたいと考えておりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

七夕



各ユニットで作成した壁画



金ヶ崎保育園から頂いた笹飾り



今年はほんぼりも制作しました!

七月七日、七夕を迎えました。利用者さんと職員が一緒に、短冊や笹に飾りつけを行いました。「願い事何にしよかな」と悩み、書いた後から「これも」「あれはどうかな」と、願い事が思いつかれる利用者さんもあり、微笑ましく感じました。また、今年度はユニット毎に天の川を制作し、玄關ホールに飾りました。それぞれのユニットの特徴がみられる七夕となりました。行事食を召し上がり、利用者さんは季節を感じていただけただよかったです。
今年も金ヶ崎保育園から素敵な笹飾りをいただきました。
ありがとうございました。
岩城利行



天の川作りをされるあざみユニットの利用者さん



真剣な表情で星を貼っています



お願い事の短冊とパチリ



笹に飾り付けされる利用者さん



天の川作りをされるいちようユニットの利用者さん



皆さんで協力して作っています



笹に飾り付けをされる利用者さん



楽しそうに飾り付けをされています



飾り付けされる利用者さん



これ美味しいよ!と素敵な笑顔



先ずは天ぷらから、いただきます!



お花見



桜の前でパチリ、
やや風の強い日でした



運動公園をバックに
キメ顔です



桜を挟んで、ハイチーズ



桜の下でニコリ笑顔



皆で食卓を囲むと更においしいね

四月の中旬にお花見外出行事を開催しました。新型コロナウイルス対策として、外出先の制限や密を避けた形での開催となりました。お花見はZアリーナと水沢競馬場の二カ所で行いました。はっきりとしない天候に左右されながらの外出となりましたが、出来る限り多くの利用者さんに外出をして頂くことができたのではないかと思います。来年こそは新型コロナウイルスの心配をせず、お花見ができればいいと思います。

切金唯希

余暇活動



生演奏で気持ちよく歌ってます



二人でデュエットしています



上手く唄うぞ

余暇支援委員会が発足し、初めての余暇活動はカラオケ大会でした。
多目的ホールに各ユニットから参加希望した利用者さんが集い、各々好きな歌を歌われていました。ギターが弾ける職員が生演奏に合わせて歌を歌う一幕もありました。

佐藤信子

委員長 菅原美穂



♪みんなで一緒に むすんでひらいて♪



将棋で勝負 頑張ります

厨房から 愛護苑の食卓

今回ご紹介する行事食は7月7日の七夕行事食です。メニューの内容は、

- ・お赤飯のおにぎり
- ・七夕そうめん
- ・天ぷら盛り
- ・昆布と大豆の煮もの
- ・レモンと大根の漬物
- ・サイダーフルーツポンチ です。

七夕の行事を皆様で迎えることができ、嬉しい気持ちを表現したくお赤飯のおにぎりを提供しました。また、フルーツポンチにはスイカやキウイフルーツなど旬の果物を使用し夏の気分を味わっていただくためにサイダーを注ぎ入れました。当日は苑内の至る箇所に笹の葉の飾りが飾られており七夕の雰囲気を感じることができました。七夕の食事も皆様喜んでおられ、こちら嬉しかったです。



栄養士 小野寺 彩

医務から 健康トピック

治療で改善出来る認知症を知っていますか？

突発性正常圧水頭症 i-NPH

主な症状としては、以下が挙げられます。

- ①歩行障害…歩きにくくなった
 - ②認知症…物忘れが始まった
 - ③尿失禁…トイレが間に合わない
- 何らかの原因で脳内に脳脊髄液が溜まり、脳が圧迫されて、これらの症状が現れます。

主な治療法は「シャント術」と呼ばれる手術で、溜まった脳脊髄液を体内の別の場所に誘導し、吸収させます。

- ①歩行障害で八〇%、②認知症で七〇%、③尿失禁で五〇%の改善が見込まれます。

「歳だから」「認知症だから」と治療しないと本当の認知症になる可能性があります。自力でトイレに行ける高齢者でありたいと、日々考える前期高齢者です。

(参考ページ：日刊ゲンダイヘルスケア

二〇二三年三月七日掲載

<https://hc.nikkan-gendai.com/articles/277304>

看護師 千葉 律子



日常の一コマ



編集後記

四月から広報委員会のメンバーが入れ替わりました。利用者さんの日常の様子をお伝えできるような活動をしていきますのでどうぞ宜しくお願いします。今年度からは、余暇支援委員会が発足し、利用者さんの当苑での生活をより良いものにしていくよう取り組んでいきます。広報誌では、余暇活動の様子をピックアップしてお送りしていきます。未だコロナ禍ではありますが、利用者さんには閉塞感を感じることなく、楽しんで生活してもらいたいものです。

また、「お知らせ版」や「ユニットブログ」でも利用者さんの近況を伝えてまいりますので、そちらも一読して頂ければ幸いです。

(広報委員一同)